

技能検定 実技講習会A



技能検定「金属プレス加工」の合格率アップを目指して今年も技能検定に向けた事前講習会を開催します。実技講習会はA、B、Cと3段階に分けて実施していきます。

まずは第1段階として7月2日（水）ポリテクセンター関西にて 実技講習会A「ブランク材の製作」についての講習会を実施しました。ブランク材を正しく作ることが合格へのキーポイントです。ブランクの計算式、ケガキ方法、金切りハサミで正しく切り、仕上げ加工、寸法測定、修正と手順を追って手厚い指導を心掛けました。今年も多くを受検者に受講して頂きました。今年受講者は1級6名（会員5名、非会員1名）、2級15名（会員9名、非会員6名）、合計21名の方にご参加頂きました。

実技試験の製作課題は1級と2級では違います。2級は丸型のフランジを持つ絞り製品を作りますのでブランク材も円形に切りますが1級は正八角形のフランジを持つ絞り製品を作りますのでそれに適したケガキとハサミでのカットが必要になります。指導員は1級に1名、2級に2名を配置して指導に当たりました。



講習前の全体説明



ブランク計算の説明（2級）



材料にキガキ線を入れて実際にハサミで切る指導（左が1級右が2級）

材料を金切りハサミで切る作業は現在の日常のプレス業務ではありえませんが、技能検定ではこれがあります。いかに切りやすいハサミを使い短時間で上手に切るかが合格のポイントでもあります。参加された方で適していないハサミで時間がかかっている人も見受けられました。当工業会では適したハサミやコンパスも販売しています。

この日製作したブランク材は次の実技講習会Bに持参頂いて実際にプレス機で絞り製品の課題に取り組みます。参加された方全員の合格をして頂きますように。